

京都マイコン研究会

第73号

(通算90号)

1993年8月1日 発行

発行人 圓口佳昭

トピックス or ニュース

マイコン認定試験御協力ありがとうございました。

若い人が多かったですが40才代の方もチラホラ。マイコン活用もウインドウの元でと考えがちですが、まだまだマイコンは一般化にはほど遠いカベが多くあるようでMS-DOSで止まったり、インストールで止まったり、ワープロへの表の取り込みで止まったり。第3のブームになりそうなウインドウ、楽しいCD-ROMソフト音声組込みまでにはのりこえなければならぬカベの多いこと、一步一步マスターするしかないようです。

しかしハードがないのはつらいですが。

(圓口)

「あなうとこ」

暑中お見舞い申し上げます

今年の夏は、梅雨か、秋の気候かわからないパソコンのハード、ソフトも同じかも？

互換機も、WINDOWSもわからない。昨日はきげんが良かったのに今日はまったく起動しない。しかし、次の日には486DX2.66MHzは、WINSOCKのチェックがオーバーする早さ。そして、すました顔で私がWINDOWSですよと言っている。そんな落ち着きの無いことばかりしているので時々、痛い目(BIOSやCONFIG.SYSなどの内部環境設定を変え)に合っています。合っていると言うかも知れませんが……。

(あまり通読に疲れすぎかな???)

(増田)

会告 !!

1. 7月3日 (PM.6:30) 例会報告

場所 大山崎ふるさとセンター

7月例会参加氏名

加藤・若林・圓口・上田

河原・中辻・若井・岩井

中西洋・増田

の10名でした

6:30~7:00 マイコンサロン

7:00~8:30 MS-Visual(Basi

8:30~9:00 質問その他

★ 次回例会

開催日 9月4日 (土)

場所 大山崎ふるさとセンター

開催時間 PM.6:30~

第20回

パーソナルコンピュータ利用技術認定試験

皆さんごくろうさまでした。

若い世代や、女性が受験人数と共に増えて来ていますが、もっと多くなるのではないのでしょうか。

試験終了後、今後も引き続き認定試験に協力することを確認しました。

会場：社会教育総合センター 中京区丸太町七本松

日時：7月18日 日曜日(試験時間10:00分)

総合責任者 加藤 補佐 岩井

3階 ●第3会議室 36名4級 担当 中辻・神賀
36名3級

●第4会議室 28名4級 担当 若井・小寺

5階 ●第6・7会議室 52名4級 担当 圓口・増田
52名3級

CD-ROMドライブを動かしての感想

この所、MS-WINDOWSの広がりとともに、CD-ROMドライブを所持するパソコン・マンが増えている。私も流れに負け時と通販から、ICM社のキャンペーン品、CD-500Eを手に入れた。このドライブの性能は、各出版社のパソコン誌に詳しく紹介されているので、ここでは省略する。

動かした感想は、

1. AP実行時のファイル転送速度

一昔のFDDの呼び出し時間くらいの速さである。現存するHDDやFDDと同じような最高速度を要求するならば、4倍速が良い。

画像とサウンドを同時に動くAPのとき、ファイルを交互に読み取るからサウンドが途切れて聞きづらい。

2. 付属してきたAPの機能

エディタ、各種辞書やデータの検索、CDレコードのプレー選択、電子ブックCDの利用などDOSモードのみの、APソフトである。12cmCDの値段が高いから、8cmCDが使えるのが、とても助かった。マニュアルには、その記事が見当たらずに雑誌で見付けた。

3. MS-WINDOWSでの機能

検索ソフトは、別に買う必要がある。将来は、ドライブに付属すると思う。MS-WINDOWSの中にあるAPで拡張子がWAV、MIDのファイルを直ぐに起動でき、内蔵サウンドがあると音が楽しめる。フリー・ソフトには画面に検索、MID演奏、CDレコード演奏を指定できるパネルが出る便利なAPがある。但し、PC-IBM互換機用であるから、検索とCD機能が働かない。でも他のソフトで画面から、トラックを指定してCDレコードを起動して演奏しながら、マウスでWINDOWSの画面が操作できる。

4. インストール操作

CONFIG. SYSにCD-ROMドライブ用のデバイスを組み込む。DOSモードもMS-WINDOWSモードのどちらの場合もCONFIG. SYSに記述が必要。

CD-ROMドライブとパソコンの接続は、どの製品もSCSIタイプである。また、他のドライブと併用するときは、ラスト・ドライブへ接続しないと認識してくれない。製品によっては終端抵抗が無いのがある。

5. トラブル

WINDOWSを起動するとき、CD-ROMの電源をパソコン本体より、遅れて起動したり、途中で電気を落とすと、windowsのテンポラリ・ファイル (smartdrive.exeで作られているファイル) を破壊して、且つ、HDDのFAT領域まで壊すおまけが付く。電源の投入に要注意です。

以上、廉価版の感想でした。当分の間は、電子ブックのプレーヤの方がAPが多く出ているし、AVもどきのAPも出るようだから、今しばらく辛抱か。パソコンへの電子ブックの接続は、RS232C (通信ターミナル) を利用する。

(TOMOPPY)

編集後記

お願いと予告

新紙面となりましたので、新しい企画として各会員のプロファイルを毎号に、お一人ずつ登場して願って連載したいと思います。当会への甘口辛口を遠慮無く話題提供をお願いします。どうか、編集部取材にご協力下さるようお願いいたします。

(Tomopy)

7月例会で、下記のリストのテキストを読み込む方法を説明しましたが、中途半端な話となりました。もう一度、解説します。

新規にフォーム (Form) を開いて、予め、Sub Command1_Click, Sub () Command2_Click () を TOOL BOX から取り出して、Form に置く。そして、MENU Bar の File を開いて、「テキスト読み込み」をクリックして、テキスト・ファイルを指定して読み込むと Code Window へ移される。

この方法は、一つの Object の Code にある Sub ~ End Sub の間にスタートメニューで記述しておいて、その後に付け加えるのに便利な場合がある。

ファイル名 : TEXT01.TXT

```
Sub Command1_Click ()
    Text1.Text = "Hellow world!"           ;新しく追加。
End Sub
```

```
Sub Command2_Click ()
    Text1.Text = "                        " ;新しく追加。
End Sub
```

```
Sub Form_Load ()
    Command1.Caption = "OK"                ;新しく追加。
    Command1.FontBold = True
    Command2.Caption = "Del"
    Command2.FontBold = True
End Sub
```

「Object」の解説

「現代用語の基礎知識1992年版」から転載：

◆オブジェクト (object) [92年外来語年鑑]

目的, 目的物。対象。オブジェクト・ガラスは対物レンズ。

◆ウィンドウ操作 (window operation) [OA革命用語]

パソコン、ワークステーション、ワープロ、DTPなどにおけるVDTのウィンドウ画面の操作は、もはや常識である。マッキントッシュの例で説明すると、画面の上段にメニューバーがあり、幾つかのメニューからマウスのポインター（矢印）を動かして、そのうちのオブジェクトを選ぶと、その下にプルダウンメニュー（詳細なメニュー）が出てきて、作業内容を細かく選択できる。ジョブ（作業項目）のアイコンの中から、特定のジョブを選ぶと、そのジョブに関するウィンドウ（そのジョブに限られた画面）が表示される。

ウィンドウは、複数枚を重ね合わせたり、その順番を変えたり、横に並べたりでき、その中から特定のウィンドウを選んで目的の仕事を実行する。それぞれ特定のウィンドウは主画面と枠があり、枠には、タイトルバー（メッセージやジョブのタイトルが表示される）やスクロールバーがあり、この中にはクロズドボックスが必ずある。このボックスをマウスでクリックすると、そのウィンドウに関するジョブが終了になる。画面にあるウィンドウやアイコンの位置は、マウスでドラッグ（drag引っばる）して画面の中の自由な位置に移動できる。アイコンやファイルなどをドラッグして、ゴミ箱アイコン（→「アイコン」）に重ねるとそのオブジェクトは廃棄される。

文責：河原友三郎

